

# 先輩紹介

K・Yさん

所属：グローバル教育センター

入職年度：2014年



## ○現在の業務について

これまでの「高い専門的知識・能力」に加え「グローバルマインドと英語力（語学力）」を持つ学生を育成しようと2019年4月に設立されたグローバル教育センター（旧国際交流センター）で、事務全体の取りまとめをしながら、主に留学生の受け入れ業務、長期語学研修の企画・運営、グローバルマインド育成イベントの企画・運営に携わっています。

## ○渡辺学園を選んだ理由

社会人になってから渡辺学園に入職するまで国内外で旅行業、教育業、国際交流事業などに携わり、いずれも現場業務を経験してきました。その中で、どの業界にもいらした女性の先輩方の活躍に触れ、多くの女性の活躍を後押しする仕事がしたいと思っていました。さらに、自身の海外経験からグローバル社会で日本人らしく活躍することの意義を深く考えていました。渡辺学園は、「自主自律」という建学の精神のもと、女性の教育に長く貢献してきた歴史を持っており、そこで社会に出る直前の女子学生たちに関わり、彼らのサポートができることは、当時、私が考えていた女性の活躍やグローバル社会での日本人らしさを支援したいという方向性と極めて一致していました。また、建学精神に則り「信じて、任せる」といった環境があると感じたことも、選んだ理由の一つです。

## ○仕事のやりがい

現在の業務は私のこれまでの経験がすべて生かせる集大成のようなもので、それだけでも非常にやりがいを感じています。しかし、何といても一番やりがいを感じる瞬間は、一つ一つの研修やイベントが無事に終了し、学生から、このプログラムに参加してよかった、こんな気づきがあった、こんな風に変われたとフィードバックをもらえたり、学生の成長を感じられたりする時です。海外研修も留学生の受け入れも、学生にとっては非常にインパクトの強い出来事であり、常に危険とも隣り合わせです。ですから、事前から事後まで様々なことに配慮しなければならず、大変なことがたくさんあります。限られた時間の中での提携校大学訪問（海外出張）、より良いプログラムの提供のための教職員間での頻繁な意見交換、各関係機関との度重なる調整や情報収集など地味で地道な仕事もたくさんあります。緊急時には24時間体制で対応するタフさも求められます。なので、一つ一つのプログラムが無事に終わった時には心からほっとしますし、成功した時の喜びもひとしおなのです。今は時代の流れが速いので、プログラムを企画・運営するために、常に自分から動いて様々な情報を手に入れなければなりません。また、学生にグローバルマインドを持つ女性を目指すように言う以上は、まずは自分がそのような人間である努力をしなければならないと思っています。常に好奇心を忘れず、幅広く、そして深く人と関わり、新しいことに挑戦することを心がけています。とても刺激的で、学びの多い職場です。

## ○応募者へのアドバイス

国際、グローバルという言葉から華やかに見られることもありますが、実は地味で責任を伴う仕事です。ただ、学生との距離も近く、学生の成長を間近に見ることができるので、とてもやりがいがある仕事でもあります。成功体験だけでなく失敗体験も含め、国内外で幅広く経験を積んできた方が力を発揮できる場所だと思います。本学には素直で勤勉で可能性を秘めた学生が数多くいます。その可能性を伸ばすためのサポートと一緒にできる方が入職されるのを楽しみにしています。